

セーフティ プロモーション スクール 認証申請書

Safety Promotion School Designation application



大阪教育大学附属池田小学校
Ikeda Elementary School
attached to Osaka Kyoiku University

日本 Safety Promotion School 協議会

令和3年3月3日

目 次

学校概要	1
本校教育の概要	3
セーフティ プロモーション スクールの7つの指標	5
指標 1・2	6
指標 3	8
指標 4	9
指標 5	10
指標 6	11
指標 7	12
学年別 1 日平均保健室（怪我による）来室者数	13
大阪教育大学附属学校池田地区 学校安全 Home Page	16
写真資料	
安全教育	21
安全管理	22
安全連携	23

学校概要

1. 学校名 : 大阪教育大学附属池田小学校
2. 所在地 : 大阪府池田市緑丘 1-5-1
3. 郵便番号 : 563-0026
4. 電話番号 : 072-761-3591
5. Fax 番号 : 072-761-3594
6. E-Mail : ikeda-e@cc.osaka-kyoiku.ac.jp
7. Website : www.ikeda-e.oku.ed.jp
8. 通学区域 : 池田市, 豊中市, 箕面市, 吹田市, 大阪市,
川西市, 伊丹市, 宝塚市, 猪名川町
9. 校長 : 眞田 巧
10. 副校長 : 荒川 真一
11. 主幹教諭 : 八尾 哲史
12. 連絡担当者 : 山崎 雅史
13. 担当者職名 : 学校安全主任

学校統計

1. 児童数 : 602 名
2. 在籍児童年齢 : 6 歳～12 歳
3. 常勤教員 : 26 名
4. 非常勤教員 : 5 名
5. 職員 : 11 名
6. 校種 : 小学校 (国立)

航空写真（平成 20 年 5 月撮影）



本校教育の概要

1. 本校の任務

- ① 義務教育として行われる普通教育のうち基礎的なものを行う
- ② 大阪教育大学との共同による学校教育と生涯学習の実践的研究
- ③ 大阪教育大学の学部生と大学院生の教育実習と実地研究指導
- ④ 公立学校との実践的研究交流など、地域社会との連携・協力
- ⑤ 学校が安全で安心できる場所とするための安全教育の実践と発信

2. 本校の教育目標

- ① 自ら進んで学び、生活をきりひらく主体的な意欲と能力の育成
- ② 好ましい人間関係を育てることによる集団的資質と社会性の育成
- ③ 自他の生命を尊重し、社会の平和と発展を希求する心情の育成
- ④ 健康の増進と、明るくたくましい心身の育成
- ⑤ 安全な社会づくりに主体的に参画する人間の育成

3. 本校の沿革（学校安全関係）

1909/04/12	創立（池田市建石町）
1919/03/31	大阪府池田師範学校附属池田小学校と改称
1939/08/22	鉄筋新校舎へ移転（池田市城南町 60）
1947/06/16	P T A 発足
1951/04/01	大阪学芸大学附属池田小学校と改称
1953/10/19	現在地に校舎を移転
1967/06/01	大阪教育大学附属池田小学校と改称
1973/04/01	大阪教育大学教育学部附属池田小学校と改称
2001/06/08	侵入者による殺傷事件（児童 8 名が亡くなり、児童 13 名と教員 2 名が負傷する） メンタルサポートチーム設置
2001/08/06	池田キャンパスの小中高合同で第 1 回不審者対応訓練実施
2001/08/27	仮設校舎（池田市城南 3-1-1）で学校再開 登校時の PTA 立ち当番開始 スクールバス運行開始

2002/02/28	子どもたちの祈りと誓いの集い
2002/06/08	祈りと誓いの集い（以後、毎年6月8日に行う）
2004/02/28	本校舎新改築工事終了
2004/04/01	大阪教育大学附属池田小学校と改称 現校舎（池田市緑丘1-5-1）で学校再開
2004/06/08	祈りと誓いの塔完成・除幕式
2008/11/01	創立100周年記念式典挙行
2009/02/23	文部科学省教育課程特例校
2009/04/01	「安全科」新設
2009/10/01	書籍「いのちの教育」を刊行
2010/03/05	WHO International Safe School に認証 International Safe School 宣言発表
2010/08/21	PTA を対象とした普通救命講習開始
2011/02/10	研究冊子「とごころ」を発刊
2011/02/10	不審者対応訓練を研究発表会で公開
2011/06/08	児童殺傷事件以降の10年間の安全の取り組みを保護者・市民に公開
2011/09/07	第20回世界セーフコミュニティ会議 スウェーデン で学校安全の取り組みを発表
2013/02/23	不審者対応訓練を研究発表会で公開（これ以降毎年1回公開を継続 2019現在）
2013/03/05	WHO International Safe School に認証
	第21回 セーフコミュニティ国際会議 メキシコ・メリダ市 で学校安全の取り組みを発表
2014/05/13	第7回アジア地域SC会議 韓国・釜山市 で学校安全の取り組みを発表
2015/03/06	Safety Promotion School に認証予定
2016/4/16	小中学校国際教育国際検討会 台湾 で学校安全の取り組みを発表
2016	登校見守りだけでなく下校見守りを開始（PTA）
2016/5	プールの日よけ設置（熱中症と直射日光による肌へのダメージの防止のため）
2017/4	登下校見守り時のベストの着用開始（視認性を向上させ見守りの効果を高めるため）
2017/5	プール外周のシーートの張り替え（危険防止のため滑りにくく視認性が高いものへ）
2017/11	書籍「学校における安全教育・危機管理ガイド」を刊行
2018/3/6	Safety Promotion School に再認証
2020/2	新型コロナウイルスの感染拡大防止のため研究発表会を中止（後日、授業動画公開）
2020/4	大阪教育大学附属学校池田地区 学校安全 Home Page 開設プロジェクトを開始
2021/3	Safety Promotion School に再認証予定

セーフティ プロモーション スクールの7つの指標

- 指標 1 : 学校内に、学校安全に関わる活動の中核を担う「学校安全コーディネーター」等を設置し、その「学校安全コーディネーター」を中心とする学校安全推進のための委員会（以下「学校安全委員会」）が設置されている。
- なお学校安全委員会は、「学校安全コーディネーター」のほか、校長・教頭等の学校管理職を含む教職員の代表、児童生徒の代表、PTA 代表、学校を管轄する地域の警察署・消防署の代表、学校のある地域自治会の代表、スクールガードリーダー等の学校ボランティアの代表等から構成されていることが望ましい。
- 指標 2 : 学校において、「生活安全」・「災害安全」・「交通安全」の分野ごとに、「安全教育」・「安全管理」・「安全連携」の領域（「3領域」と表記）の学校安全推進のための「中期目標・中期計画（3年間程度）」が立案されている。
- 指標 3 : 学校安全委員会において、「中期目標・中期計画」に基づいた学校独自の学校安全推進のための「年間計画」が策定されている。
- 指標 4 : 策定された「年間計画」に基づいて、学校安全委員会を中心に、学校関係者が参加して、学校安全推進のための活動が年間を通じて継続的に実践されている。
- 指標 5 : 学校安全委員会において、実践された学校安全推進に関わる活動の成果が定期的に報告され、それぞれ明確な根拠を基に活動に対する分析と評価が行われている。
- 指標 6 : 学校安全委員会における次年度の「年間計画」の策定にあたって、それまでの活動成果の分析と評価を参考に、当該校における学校安全に関わる実践課題の明確化と「年間計画」の改善が取り組まれている。
- 指標 7 : 学校安全推進に関わる活動の成果が、当該学校関係者に共有されるよう広報するとともに、「協働」の理念に基づいて、国内外の学校への積極的な活動成果の公開と新たな情報の収集に努めている。

指標 1 : 学校安全委員会

		役職
委員長	学校安全コーディネーター	・学校安全主任
委員	教職員代表	・学校長 ・副校長 ・主幹教諭 ・養護教諭
委員	児童代表	・6年生代表 2名 ・5年生代表 2名
委員	PTA 代表	・PTA 会長 ・PTA 安全部会長
委員	警察関係者	・池田警察署 生活安全課長
委員	消防関係者	・池田消防署 署長
委員	市町村危機管理部局関係者	・池田市役所危機管理課 安全管理担当監
委員	地域自治会代表	・鉢塚町内会 副会長
委員	大阪教育大学	・学校危機メンタルサポートセンター長

指標 2 : セーフティプロモーションスクール活動の中期目標・中期計画

(平成 30 年 3 月の目標・計画および達成状況)

分野	中期目標・中期計画	達成状況
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	<ul style="list-style-type: none"> ・危険個所の発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 →低学年の頭部打撲事故を平成 29 年度の 70%以下にする。 ・休憩時間の怪我を減少させる。 →20 分休憩と昼休憩のけがの発生を平成 29 年度の 70%以下におさえる。 ・保護者と連携しての防犯及び地震の避難訓練を行う。 ・救命・外傷予防や不審者対応に関わる施設及び設備を一層充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月に 1 度の安全点検を継続的に実施することで、危険個所を早期に発見し改善した。 →数値目標を達成することはできなかった。 ・昼休憩の怪我の発生件数は減少した。 →数値目標を達成することはできなかった。 ・授業参観時に地震の避難訓練を行い、児童が避難する様子を保護者に見学してもらった。 ・AED の更新や WBGT 測定器を 4 か所に設置し、常時確認することで、熱中症予防に役立てた。

分野	中期目標・中期計画	達成状況
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の備品の充実を進める。 ・災害発生後の保護者との連絡方法や引き渡し方法等を保護者と共有する。 ・登下校時に発生した自然災害に適切に対応できるよう安全教育を行う。 ・保護者と連携しての防犯及び地震の避難訓練を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備品の更新を行った。 ・これまでの一斉メール配信のみならず、ミマメルメの一斉メール配信も導入した。 ・地区別活動時に、登下校時に地震が発生した場合の対応について指導した。 ・授業参観時に地震の避難訓練を行い、児童が避難する様子を保護者が参観した。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等に地域住民を積極的に招待し、地域との交流を継続的に実施する。 ・道徳教育の充実を図り、社会の一員としての自覚を促すとともに、安全教育の一環として児童が中心となってマナー向上を目指した取り組みを行う。 ・PTAによる下校見守りを継続して行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会や餅つき大会などに招待するとともに、地域の清掃に参加し交流を深めた。 ・道徳教育推進者を配置し、道徳教育の充実を図った。 ・PTAによる下校見守り当番を継続して実施するとともに、父親見守り活動も実施した。

(令和3年度からの中期目標・計画)

分野	中期目標・中期計画
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	<ul style="list-style-type: none"> ・危険個所の発見及び遊具等の施設及び設備の改善に努める。 ・休憩時間の怪我を減少させる。 <p>→20分休憩と昼休憩の1日あたりのけがの発生件数を令和2年度の90%以下におさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・警察や消防と連携して、防犯の避難訓練を行う。 <p>→年に1回は警察や消防と連携した訓練を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救命・外傷予防や不審者対応に関わる施設及び設備を一層充実させる。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	<ul style="list-style-type: none"> ・防災倉庫の備品の充実を進める。 ・災害発生後の保護者との連絡方法や引き渡し方法等を保護者と共有する。 ・登下校時に発生した自然災害に適切に対応できるよう安全教育を行う。 ・消防署と連携して、地震及び火災の避難訓練を行う。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事等に地域住民を積極的に招待し、地域との交流を継続的に実施する。 ・道徳教育の充実を図り、社会の一員としての自覚を促すとともに、安全教育の一環として児童が中心となってマナー向上を目指した取り組みを行う。 ・教職員による登下校指導やPTAによる下校見守り活動を継続して行う。

指標 3 : セーフティ プロモーション スクール活動の年間計画 (令和 2 年度)

分野	領域	年間計画
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	○児童自身が外傷予防に取り組もうとする態度を育成する。 ○安全科の授業を通して、児童の危険予知・回避能力を高める。 ○児童と教職員が不審者対応訓練を実施し、非常事態に備える意識を高める。
	安全管理	○警備計画や校内安全規則に基づき、校内の危険箇所を減少させる。 ○日直が校内を巡回し、危険な行動を防ぐ。 ○メール送信システムや欠席連絡システムを活用し、学校と保護者の連絡が迅速に行えるようにする。 ○消防署や病院との連携を深め、救急搬送が迅速に行えるようにする。
	安全連携	○不審者対応訓練や普通救命講習を通して教職員・保護者の救命救急スキルを高める。 ○学校安全委員会の場で学校の取り組みに対する外部からの評価を受ける。 ○不審者対応訓練の内容を DVD に収め、各学校に配布する。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	○地震・火災・水難の避難訓練を定期的実施し、児童の防災スキルを高める。 ○自然災害時の対応について、安全科の授業で系統的に取り組む。 ○地区別下校を行い災害時に高学年中心に安全に下校できるようにする。
	安全管理	○消防計画や防災組織編成に基づき、教員がそれぞれの役割を果たす。 ○災害で下校できない状況を想定し、食料を備蓄する。 ○災害時における保護者への連絡方法の周知・徹底を図る。
	安全連携	○普通救命講習を実施し、教職員や保護者の救命救急スキルを高める。 ○学校安全委員会の場で学校の取り組みに対する外部からの評価を受ける。 ○消防署と連携し、安全教育を実施する。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	○安全に登下校しようとする態度を育成する。 ○社会の一員としての自覚を育むことで、登下校のマナーを向上させる。
	安全管理	○駅から学校まで安全な経路を通学路として定める。 ○日直が登下校時に通学路を巡回し、安全を確保する。 ○学校に入った連絡を通学路にいる日直に速やかに伝わるようにする。
	安全連携	○保護者や地域の協力を得て登下校の安全を確保するように努める。 ○池田市役所や池田警察署と連携した安全教育の実施。

指標 4 : セーフティ プロモーション スクール活動の実践 (令和 2 年度)

分野	領域	活動・実践の内容
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをした児童が、自分で発生場所や時刻を PC に入力する。 ・安全科のカリキュラムに従い、安全科の授業で学年に応じた防犯教育に取り組む。 ・栄養教諭・養護教諭と担任が連携し、食育指導や保健指導を行う。 ・不審者が侵入したという想定で、児童・教職員が避難訓練を実施する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・児童が安全に学校生活を送ることができるように各種規則を定める。 ・毎月 1 回、担当場所の施設設備及び遊具の安全点検を行う。 ・日直が校内を巡回し、安全指導を行う。 ・緊急時及び下校時刻の変更時に全保護者に一斉にメールを送信する。 ・登下校時に日直および保護者が巡回指導を行う。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の生活指導上の問題点等を教員全体で共有する。 ・不審者対応訓練を年間 5 回と普通救命講習を 1 学期に実施する。 ・保護者や児童に学校の教育活動に対するアンケート調査を行う。 ・不審者対応訓練の内容を収めた DVD を各学校に配付する。
災害安全 ・地震対策 ・風水害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・児童と教職員が、地震や火災が発生したという想定で避難訓練を実施する。 ・安全科のカリキュラムに従い、安全科の授業で防災や火災、水難等に関わる教育を学年に応じて取り組む。 ・通学許可範囲を 21 の地区に分け、地区ごとに下校する体制を整える。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・火災の予防や児童の安全確保のため、消火設備等の点検を行う。 ・不審者、地震、火災、風水害に対応するための役割分担を行う。 ・災害により下校困難となった場合に備えて、2 日分の食料を備蓄する。 ・地震発生を感知し、地震波が到達するまでの時間を放送で知らせる。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・応急手当普及員（本校教員）の指導の下、普通救命講習を実施する。 ・プール水泳指導のあり方についての意見交換及びプールの安全点検を行う。（令和 2 年度水泳の授業は実施せず） ・海水浴中の事故防止策や津波が到来した場合の避難経路を確認する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校時の安全確保のため、教員や保護者が通学路の複数個所に立って指導する。 ・池田警察署の協力により、警察官が新 1 年生に交通安全を指導する。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・1 年生に限り、登校時に池田駅から学校まで阪急バスを利用する。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時、6 名の保護者が決められた場所で児童の安全確保を行う。 ・下校時、保護者が通学路を巡回指導する。 ・年間 10 日程度、児童の父親が登校時の安全確保を行う。 ・池田市職員が、青色灯をつけた車で登下校時にパトロールする。

指標 5 : セーフティ プロモーション スクール活動の評価 (令和 2 年度)

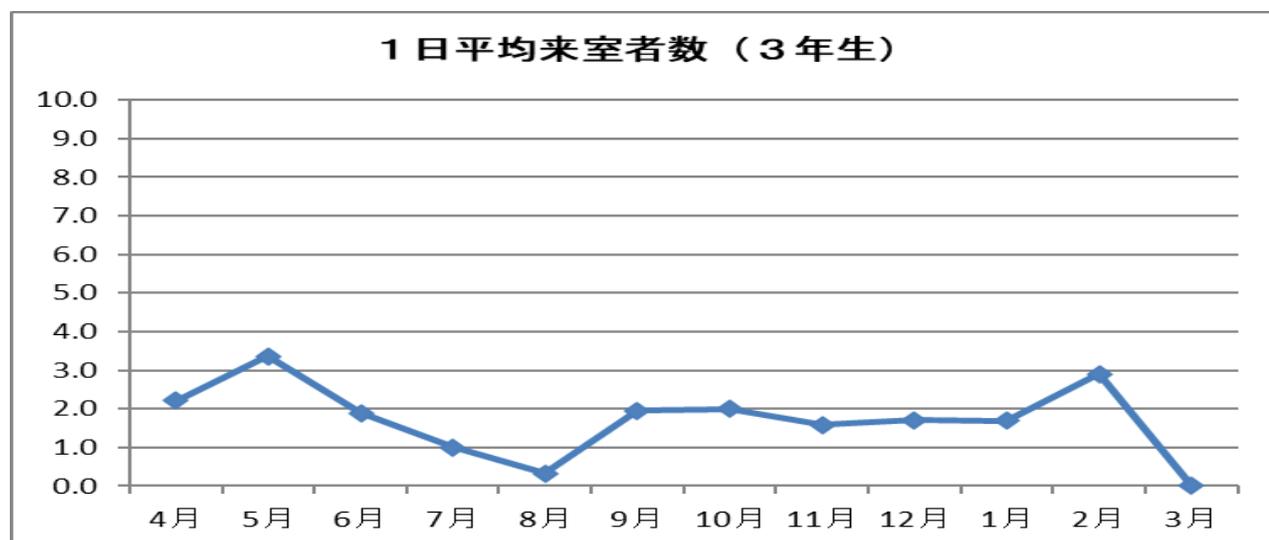
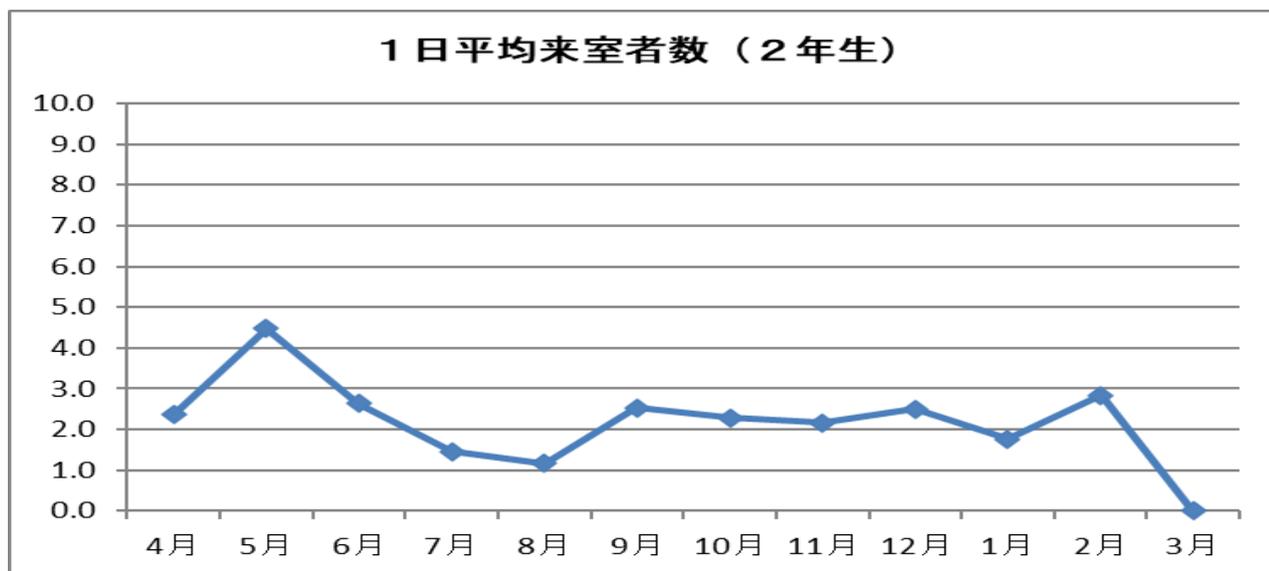
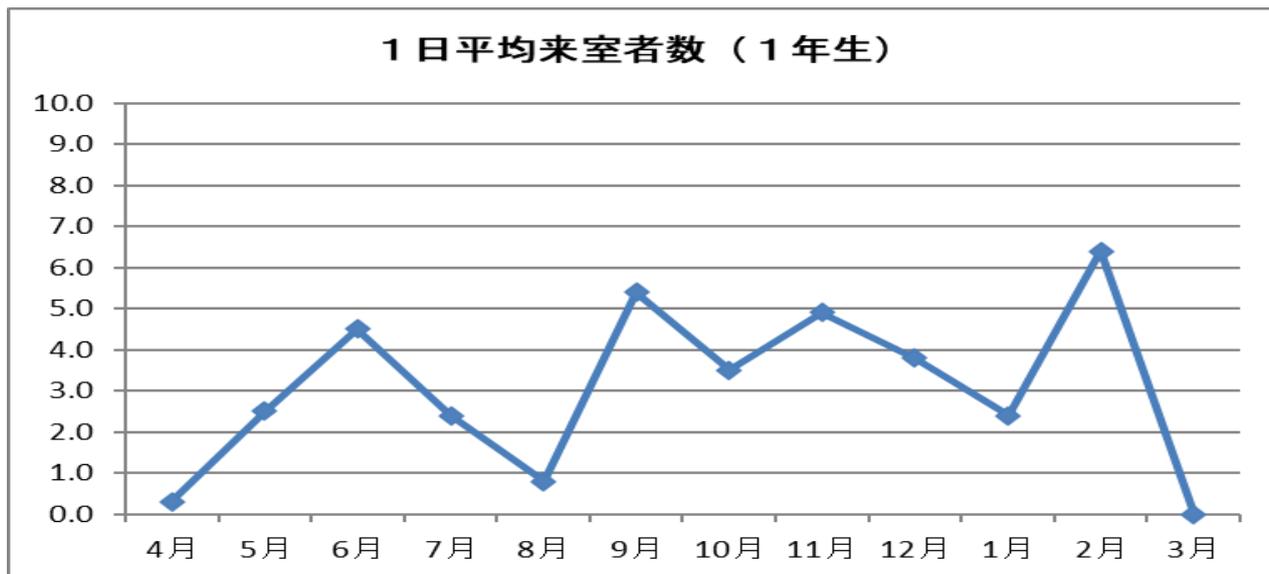
分野	領域	評価方法
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・けがをした児童自身が、発生場所や時刻を PC に入力し、データを蓄積した。 ・児童を含めての不審者対応訓練を適切に実施した。 ・安全教育のカリキュラムに基づいて安全科の授業を実施した。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検に基づいて、修理個所の補修を行った。 ・20分休みと昼休みには、日直による校内の巡視と施錠確認を行った。 ・保護者へのメールを必要に応じて配信した。 ・日直・保護者による登下校時の見回りをを行った。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・児童に生活指導上の問題があった際には職員全体で共有を図った。 ・不審者対応訓練を 5 回実施した。事故発生時の対応を含めた普通救命講習を実施した。 ・通学路近くでの不審者情報に対して、関係機関と連絡を取り児童の安全確保に努めた。 ・児童・保護者を対象に学校教育診断を行った。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災の避難訓練を 3 回実施した。 ・安全科のカリキュラムにしたがって計画的に指導を行った。 ・地区別下校を 3 回実施した。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・消防点検を定期的に行なった。 ・学校安全の手引きを作成し、訓練や点検を計画的に行なった。 ・緊急地震速報の装置を活用し、避難訓練を行った。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・安全管理委員会の実施や設備点検を行った。 ・安全に関わる訓練や打ち合わせの実施。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・登下校マナー週間を設け、教員が通学路上での安全指導を行った。 ・保護者と連携し、登下校時の指導を行った。 ・安全科の授業のほか、池田警察署員による交通安全指導を行った。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバスを運行し、1 年生の登校時の安全を図った。 ・日直による登下校時の見守りを行った。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者（当番制）による登下校時の見守りを行った。 ・池田市危機管理課による登下校時の安全パトロールを実施した。

指標6：セーフティ プロモーション スクール活動の改善（令和2年度）

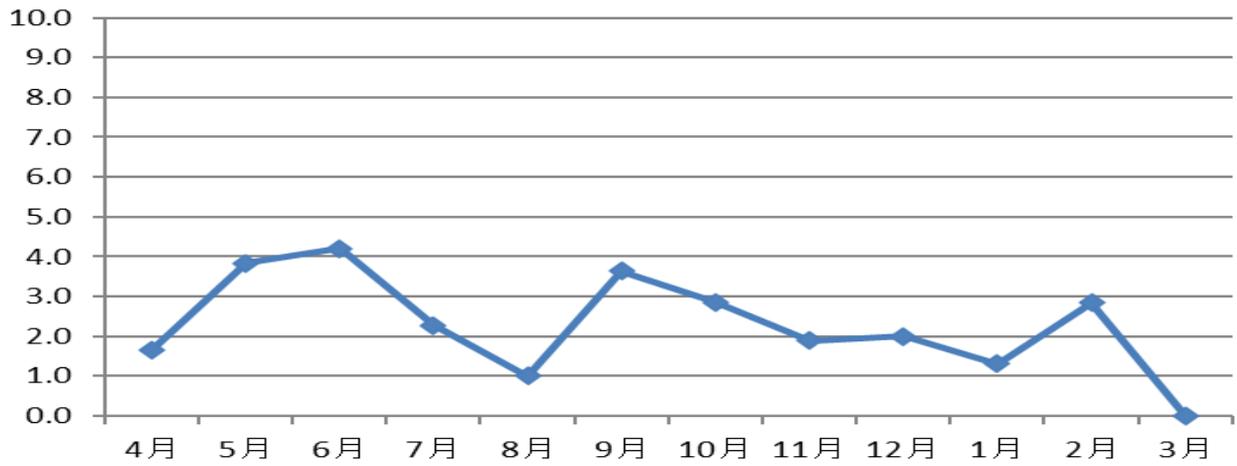
分野	領域	課題への対応と改善
生活安全 ・外傷予防 ・犯罪予防	安全教育	・生活安全や防犯に関わる更なる教材開発を行う。
	安全管理	・校内でのけが発生状況を分析し、施設・設備の改善を図る。 ・安全科の授業の一環として、児童が中心となり校内の安全について啓発できる活動をおこなう。 ・中学・高校と連携し、緊急時の対応体制を検討する。
	安全連携	・不審者対応訓練の今までの反省等を分析し、さらなる充実を図る。
災害安全 ・地震対策 ・風水雪害対策 ・火災予防	安全教育	・防災等に関わる更なる教材開発を行う。
	安全管理	・防災倉庫内の備品の更新を続ける。 ・安全点検を通じて、災害時に危険な箇所の改善を図る。
	安全連携	・様々な行事を通じて池田市や地域自治会と交流を深め、緊急時にスムーズに連携できるあり方を検討する。
交通安全 ・被害予防 ・加害予防	安全教育	・児童の実態を踏まえ、交通安全に関わる更なる教材開発を行う。 ・学習の成果をもとに主体的な児童の行動を促す。 ・道徳教育を推進し、社会の一員としての自覚を児童が高めることで、マナーの向上に努める。
	安全管理	・中学、高校やPTAと連携し、通学路の安全点検を行い、立ち当番の配置などについて再検討を行う。
	安全連携	・池田警察との連携を活かした交通安全指導の充実を図る。 ・PTAの登下校見守りの継続的な実施を行う。

指標 7 : セーフティ プロモーション スクール活動の共有 (令和 2 年度)

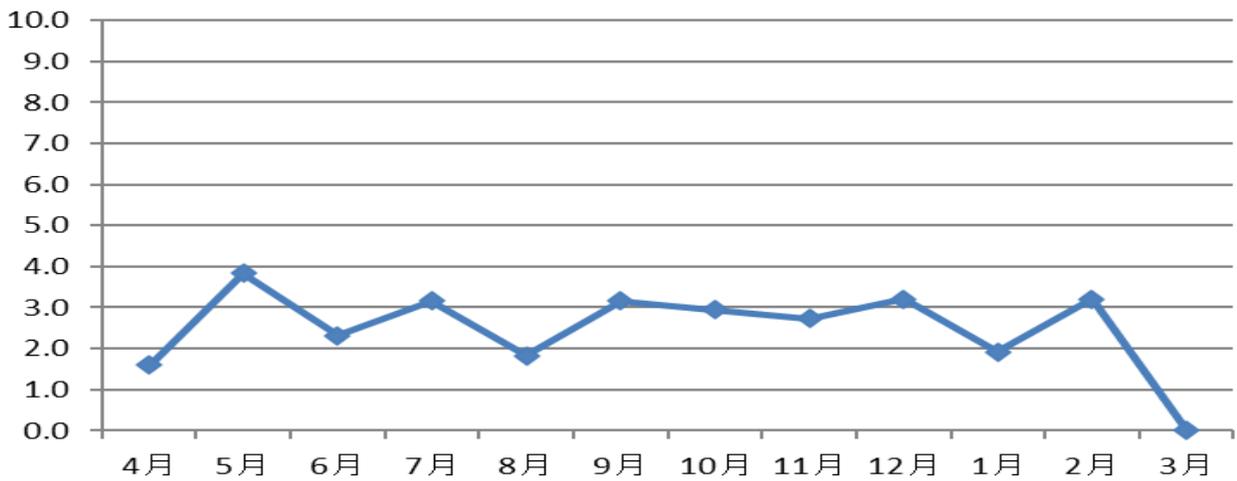
分野	領域	成果の共有と協働
生活安全 ・ 外傷予防 ・ 犯罪予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 2 月研修会で実施予定だった授業実践を実践記録としてまとめた。 ・ 文化発表会において、児童が学習の成果を保護者等に発表した。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 不審者対応訓練の DVD を作成し、視察や講演時に配布した。 ・ 9 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全管理について研修会参加者と交流を行った。 ・ 今年度の取り組みについて職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外より学校視察の受け入れを予定していたが、中止となった。 ・ 学校および教育委員会主催の研修会において、学校安全についての講演を行った。 ・ 学校安全管理委員会において報告予定だったが中止となった。
災害安全 ・ 地震対策 ・ 風水雪害対策 ・ 火災予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 2 月研修会で実施予定だった授業実践を実践記録としてまとめた。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の取り組みについて職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外より学校視察の受け入れを予定していたが、中止となった。 ・ 学校安全管理委員会において報告予定だったが中止となった。
交通安全 ・ 被害予防 ・ 加害予防	安全教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9 月に開催された学校安全指導者養成研修において、本校での安全教育について研修会参加者と交流を行った。 ・ 2 月研修会で実施予定だった授業実践を実践記録としてまとめた。
	安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今年度の取り組みについて職員会議等で報告・交流した。
	安全連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外より学校視察の受け入れを予定していたが、中止となった。 ・ 学校安全管理委員会において報告予定だったが中止となった。



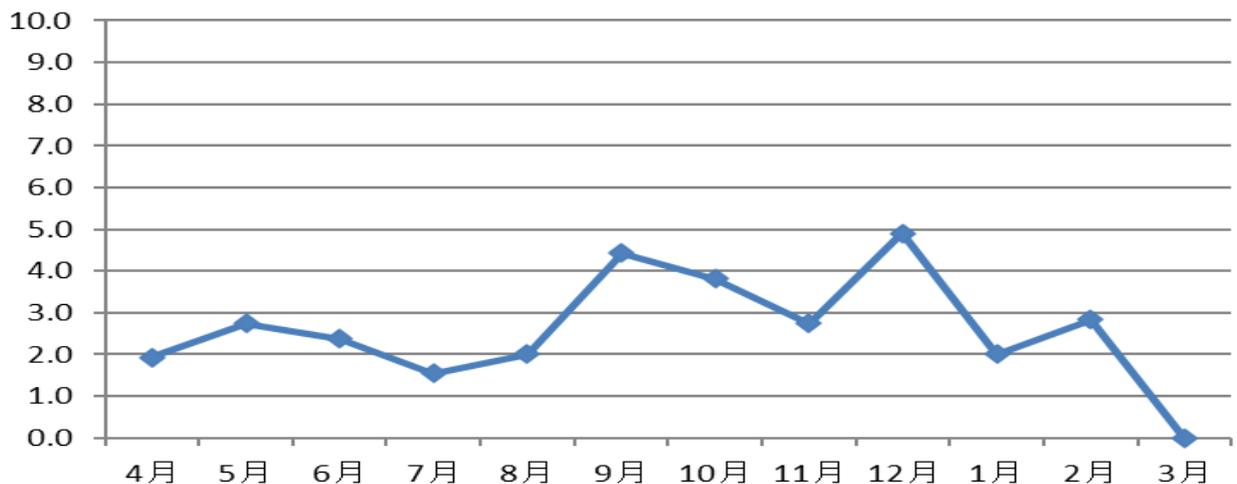
1日平均来室者数（4年生）

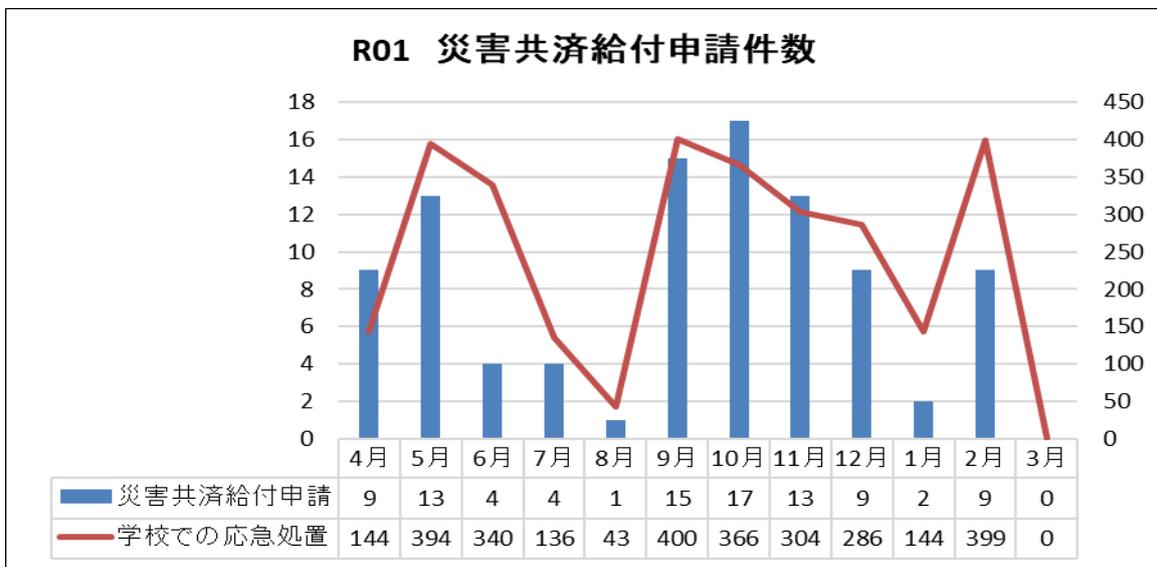
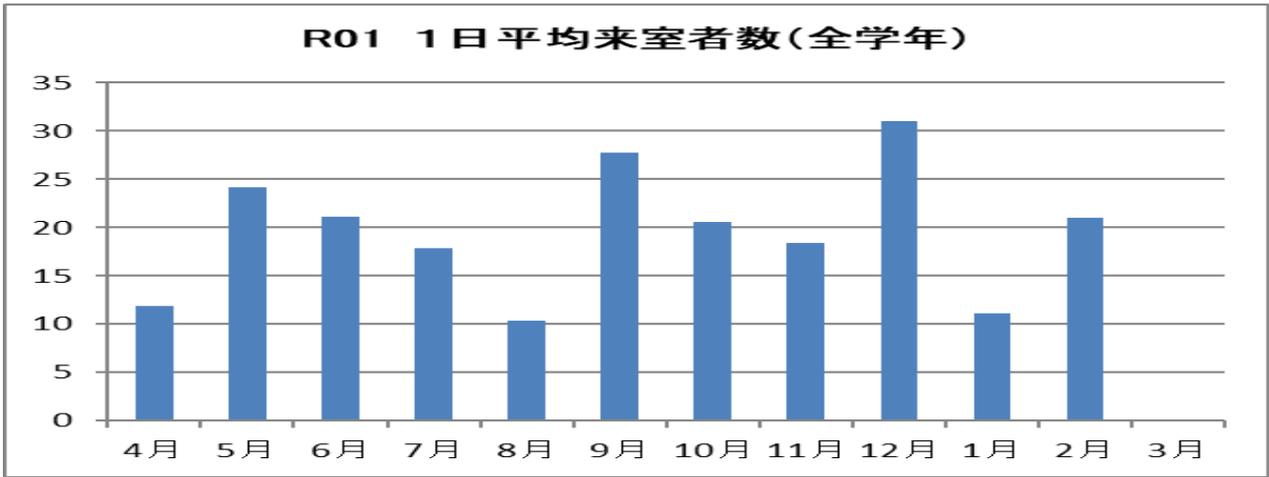


1日平均来室者数（5年生）

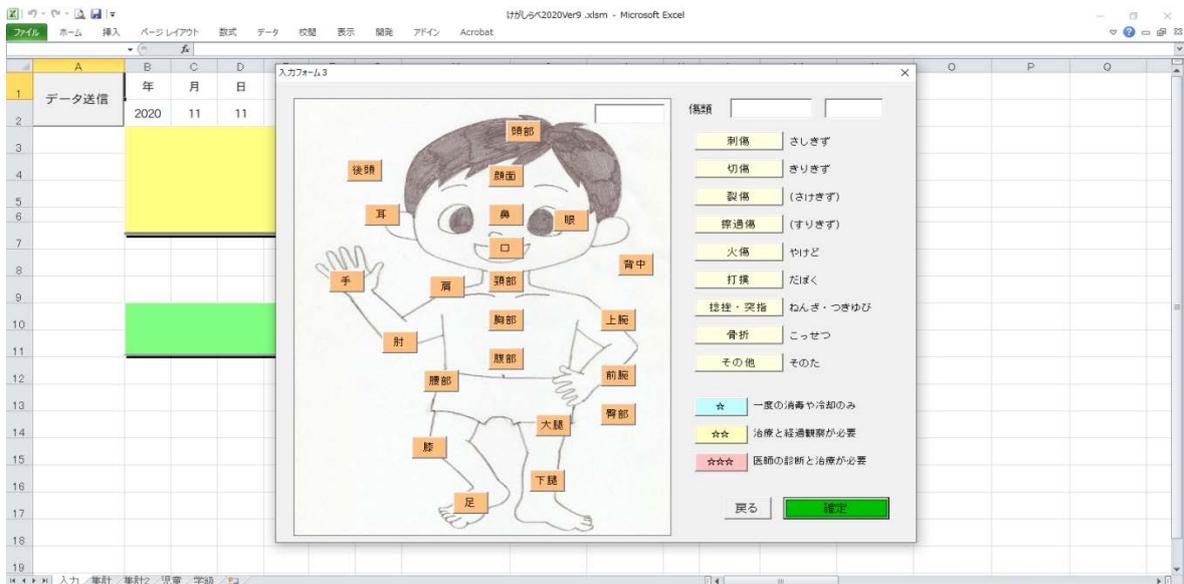


1日平均来室者数（6年生）





来室者の集計は以下のようなソフトを用いて記録している。児童が自分で入力できるようになっている。



開設の準備を進めている「学校安全 Home Page」より

学校安全 Home Page

大阪教育大学附属学校池田地区

HOME 安全教育 安全管理

ホームページの開設にあたって

附属学校池田地区の学校安全の取り組みは、附属池田小学校事件の反省から始まりました。

(学校安全の手引きから)

平成13年(2001年)6月8日、あってはならない事件が本校で起こった。8名もの尊い命を失い、多くの児童が心身に大きな傷を負った。我々教職員は、できるだけのことを精一杯やった。しかし、「冷静に判断し最善のことができたのか。」という問いに対しては、「できなかった...。」のが現実である。その反省から、教職員一人ひとりが、学校安全・危機管理に関しての重要性を見直し、日頃から常に意識を高く持たなければならぬと痛感した。

安全教育

附属学校池田地区がこれまでに取り組んできた安全教育のカリキュラムと授業を紹介します。授業は学年や領域で分類されています。授業動画への(外部)リンクもあります。

安全管理

附属学校池田地区の安全管理の方針や実際の様子を紹介します。不審者対応訓練の動画への(外部)リンクもあります。

SPS (Safety Promotion School)

附属池田小学校 SPS申請書 2015
附属池田小学校 SPS申請書 2018

Link

大阪教育大学
附属池田小学校
附属池田中学校
附属高等学校池田校舎
学校安全推進センター

安全教育

小学校 カリキュラム

Open HTML

大阪教育大学附属池田小学校 安全教育カリキュラム

1年生 歩行者 1 4月

交通安全の現状

小学生が歩行者として被害を受ける交通事故の多さを知る。
小学生の事故が多い理由を考える。
通学時の様子进行交流し、潜在的な危険に気づく。

1年生 歩行者 2 4月

事故が起きやすい場所

資料から、事故が起きやすい場所を調べ知る。
事故が起きやすい理由を考案、事故を起こさないためにどのような歩き方をすべきか具体的に考案する。

1年生 校内安全 1 5月

校舎内の歩き方

校舎内の歩き方のルールについて知る。
ルールが安心・安全につながることを知る。

それぞれの学年にルールがあるように、学校にもさまざまなルールがあることを知らせる。そうして、規則の歩き方などのルールにもそれぞれ意味がありなぜそのようなルールがあるのかを話し合う。守らなければ自分たちの安心・安全が脅かされるのである。

カリキュラム

小学校

授業 (学年別)

- 小1
- 小2
- 小3
- 小4
- 小5
- 小6

授業 (領域別)

- 災害安全
- 生活安全
- 交通安全
- 情報モラル

Recent Uploads

安全教育 授業（学年別）「6年」

<p>「小6」 カテゴリーアーカイブ</p> <hr/> <h3>小6 災害安全 台風</h3> <p>過去の台風に学ぶ 台風の発生を人為的に防ぐことはできませんが、全ての台風が必ず災害を引き起こすとは限りません。「災害は危険が脆弱性と出会うことで起こる。」と言われるように、社会的な脆弱性によって被害は拡大します。過去の台... 続きを読む</p> <hr/> <h3>小6 生活安全 感染症</h3> <p>感染症と病原体 新型コロナウイルスに関する情報のなかには「デマ」も多く含まれており、自分や他人の命を守るためには、情報を正しく取捨選択しなければなりません。そのためには、「ウイルス」「免疫」「抗体」「ワクチン」等に関する... 続きを読む</p> <hr/>	<h3>カリキュラム</h3> <p>小学校</p> <hr/> <h3>授業（学年別）</h3> <p>小1 小2 小3 小4 小5 小6</p> <hr/> <h3>授業（領域別）</h3> <p>災害安全 生活安全 交通安全</p>
---	---

安全教育 授業（領域別）「災害安全」

<p>「災害安全」 カテゴリーアーカイブ</p> <hr/> <h3>小6 災害安全 台風</h3> <p>過去の台風に学ぶ 台風の発生を人為的に防ぐことはできませんが、全ての台風が必ず災害を引き起こすとは限りません。「災害は危険が脆弱性と出会うことで起こる。」と言われるように、社会的な脆弱性によって被害は拡大します。過去の台... 続きを読む</p> <hr/> <h3>小5 災害安全 噴火</h3> <p>火山現象と噴火警戒レベル 日本には活火山が多くあります。居住地近くにはなくても、観光旅行などで訪れる機会は何度もあるはずです。噴火警戒レベルに応じた行動ができなければ、危険な目に遭うかもしれません。日本で生活している限り... 続きを読む</p> <hr/> <h3>小3 災害安全 地震</h3> <p>地震への備え 地震到達までの時間によって避難行動は変わるはずですが、1秒では無理ですが、5秒あれば机の下にもぐることができます。24時間あれば、もっといろいろな備えができるでしょう。しかし、10年以内に巨大地震が起こる「か... 続きを読む</p> <hr/>	<h3>カリキュラム</h3> <p>小学校</p> <hr/> <h3>授業（学年別）</h3> <p>小1 小2 小3 小4 小5 小6</p> <hr/> <h3>授業（領域別）</h3> <p>災害安全 生活安全 交通安全 情報モラル</p> <hr/> <h3>Recent Uploads</h3> <p>小6 災害安全 台風 小3 生活安全 火災 小6 生活安全 感染症</p>
--	--

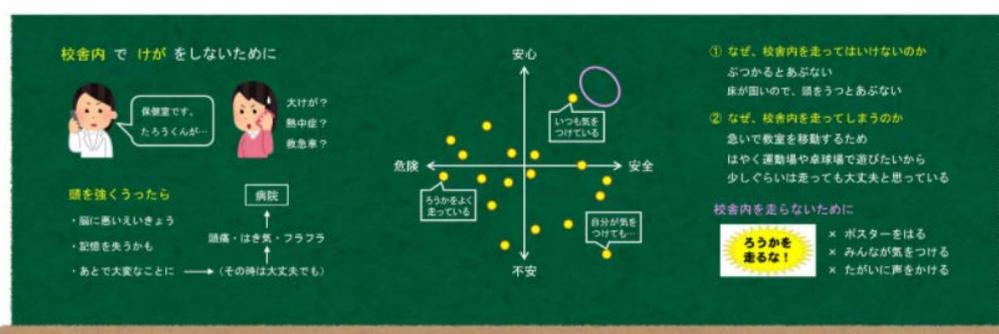
小2 生活安全 外傷予防

投稿者: kyoiku | 2020-11-12

0件のコメント

校舎内での大きなけが

大きなけがや頭部のけがを防ぐためには、学校での過ごし方を見つめるだけでなく、環境面にも気を配ることが大切です。「気をつける」「互いに声をかけあう」「ポスターをはる」でけがを防ぐことは不可能です。それよりも、安全で安心できる学校づくりに児童自身が加わろうとする意欲を持たせることの方が大切だと考えます。



授業動画

小3 生活安全 火災

投稿者: kyoiku | 2020-11-30

0件のコメント

火災を防ぐ

3年生では、理科の学習が始まり、実験で火を使う場面なども出てきます。自分の不注意で火災を発生させる可能性も、ゼロではないでしょう。不注意で起こってしまう火災だけでなく、放火についても取り上げて、安全なまちづくりに自分も加わっていこうとする意識を育てたいと思います。



授業動画

小5 災害安全 噴火

投稿者: kyoiku | 2020-11-12

0件のコメント

火山現象と噴火警戒レベル

日本には活火山が多くあります。居住地近くにはなくても、観光旅行などで訪れる機会は何度もあるはず。噴火警戒レベルに応じた行動ができなければ、危険な目に遭うかもしれません。日本で生活している限りは、火山を恐れるだけでなく、安全に共存しようとする意識を持ちたいものです。

噴火 警戒レベル

特別警戒	警戒	予報	生活	旅行
5 避難			避難	旅行中止・変更
4 避難準備			避難準備	旅行中止・変更
3 入山規制			ほぼ平常	登山中止
2 火口周辺規制			平常	計画変更
1 活火山であることに留意			平常	予定通り

溶岩流
1000℃ 時速3km程度

火砕流
700℃ 時速80km以上

噴石
2～5km先まで 時速300km

火山灰
数十km～数百km先まで

○ 活火山「休火山」「死火山」
近畿・中国・四国地方にはない。かたまっている。つながっている。
「火山帯」

たろうくんへのアドバイス
山頂は目指さない方がよい
山頂はレベル1のときに
地元の人や詳しい人に相談して
ヘルメット等の安全装備が必要

授業動画

小6 生活安全 感染症

投稿者: kyoiku | 2020-11-12

0件のコメント

感染症と病原体

新型コロナウイルスに関する情報のなかには「デマ」も多く含まれており、自分や他人の命を守るためには、情報を正しく取捨選択しなければなりません。そのためには、「ウイルス」「免疫」「抗体」「ワクチン」等に関する正しい知識が必要ですが、大人でも難しい内容です。小学生に理解させるためには相当な工夫が必要となります。

細菌・ウイルスに 感染 しないために

病原体

細菌	ウイルス
サルモネラ	ノロ
ペスト	コロナ
O157	インフルエンザ
生物!	生物?
身長150um	身長3um

インフルエンザにかかったことがない

予防接種 免疫
手洗い うがい 薬
運動 マスク 消毒
睡眠 栄養 運
無菌室 外出しない
気づいていない

(外) (内)

睡眠・栄養・運動
免疫①

手洗い うがい マスク
消毒

じゃんけんしない 外出しない 3密をさける

(外) (内)

病原体 感染症 抗体

病原体 免疫②

予防接種

新型ウイルス...

授業動画

安全管理 手引きの作成にあたって

HOME 安全教育 **安全管理**

手引きの作成にあたって

[Open PDF](#)

「学校安全の手引き」作成にあたって

平成13年(2001年)6月8日、あってはならない事件が本校で起こった。8名もの尊い命を失い、多くの児童が心身に大きな傷を負った。我々教職員は、できるだけことを精一杯やった。しかし、「冷静に判断し最善のことができたのか。」という問いに対しては、「できなかった…」のが現実である。その反省から、教職員一人ひとりが、学校安全・危機管理に関する重要性を見直し、日頃から常に意識を高く持たなければならないと痛感した。

そういった意識から我々は、学校再開に向けて、校内で児童の安全を守る様々な約束事を整えた。校内安全規則や不審者対応マニュアルなどがその一例である。また、学校再開以降、不審者対応マニュアルをもとに教職員のみ不審者対応訓練を年に5回程行うなど、普段から学校の安全管理意識を高め、悲劇が二度と起こらないように努めてきている。

校舎は安全性を重視して生まれ変わったが、安全性の高い校舎が児童の安全を保障するものではない。その校舎で児童とともに日々を過ごす教職員一人ひとりが高い安全管理意識を持って行動しなければ、児童の安全を守ることは不可能である。つまり、児童の安全を守るのは建物や設備、機器ではなく、そこにいる人間なのである。ゆえに、全教職員が共通理解し、児童の安全を守る意識を高め、より高いレベルで安全管理意識を持ち続けたいという思いから、本校における学校安全に関する様々な約束事を「学校安全の手引き」としてまとめている。

この「学校安全の手引き」は、実際に即し、普段の生活から広く学校の安全をはかる手引きという性質をもっている。安全管理意識を高め、普段の児童の安全はもとより、児童避難訓練、教職員研修や不審者対応訓練で用いていきたい。また、日頃の安全管理の真摯

学校安全の手引き

- 手引きの作成にあたって
- 附属池田小学校事件の教訓
- 安全管理の基本方針
- 安全管理資料(マニュアル)

不審者対応訓練(動画)

- 2004年 不審者対応訓練
- 2012年 不審者対応訓練
- 2018年 不審者対応訓練

安全管理 不審者対応訓練(動画) 「2018年 不審者対応訓練」

安全管理
大阪教育大学附属学校池田地区

HOME 安全教育 **安全管理**

2018年 不審者対応訓練

学校事故対応に関する指針(27文科初第1785号)に基づいて、事件・事故対策本部役割分担を作成しました。事件後の取り組みはどうあるべきかについての訓練も開始しました。ビデオのなかでは、事件に関する聞き取り調査も行っています。

[訓練動画](#)

学校安全の手引き

- 手引きの作成にあたって
- 附属池田小学校事件の教訓
- 安全管理の基本方針
- 安全管理資料(マニュアル)

不審者対応訓練(動画)

- 2004年 不審者対応訓練
- 2012年 不審者対応訓練
- 2018年 不審者対応訓練

写真…安全教育（安全学習及び安全指導）



交通安全教育



生活安全教育



地震避難訓練



地震避難訓練



水難安全教育（着衣水泳）



1年交通安全教室



けがしらべ



給食指導（親子給食）

写真…安全管理（対人管理及び対物管理）

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

欠席連絡システム

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33	1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33
--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

体温測定結果連絡システム



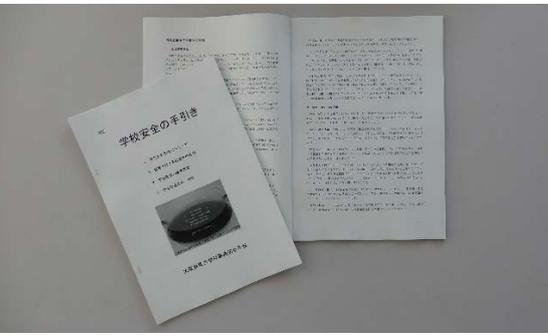
防災倉庫



運動場用校内電話



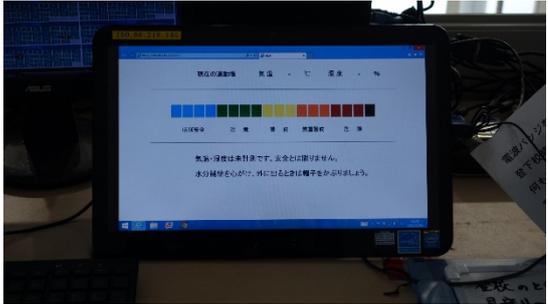
スーパードラゴン



学校安全の手引き



バス登校（1年生）



熱中症予防モニター

写真…安全連携（PTA 活動及び地域資源との連携）



不審者対応訓練



防犯講習会



教職員普通救命講習



PTA 普通救命講習



PTA 登校見守り



PTA 下校見守り



学校視察



池田市安全パトロール